

森の名手シリーズ 35



名人
田中豊彦 (75)
岐阜県郡上市

聞き手
驚見 研弥
岐阜県立岐阜農林高等学校二年
平成22年取材

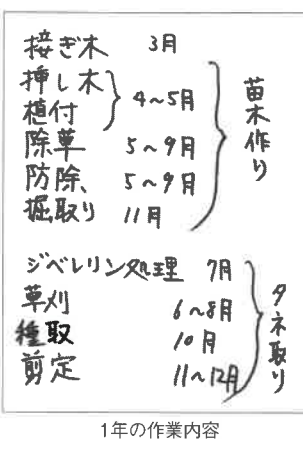
「森の名手名人」とは、森に関わる仕事や地域生活に染み込んだ営みのうち、優れた技をもつその業を極め、他の模範となっている達人で、毎年、全国で約100名が選定されています。岐阜県においては、現在、44名の「森の名手・名人」がいます。この「森の名手・名人」を「森の聞き書き甲子園」に参加した高校生が「聞き書き取材をしたものの中から誌面の関係上要点を抜粋したものです。なお、年齢、住所、学年は取材当時のものです。」

苗木生産 失敗を重ねて良いものを

1. 1年の仕事の流れ

3月にサクラの接ぎ木をして、植え付けが4月から5月。植え付けは種を蒔いたり接ぎ木したものを植えるんです。あとずっと除草や、病気になる木とか虫の防除などの管理作業を5月から9月ごろまでやる。防除とは殺菌剤と殺虫剤を撒く作業のことです。秋にはスギやヒノキの種採りをやったり。あとは、天皇陛下が播かれたお手播き苗を育てておたり、今年から始めたコンテナ苗をつくったりしてとるんです。

広葉樹は平成2年ごろから県の指示で作り始めたの。ところが民間の人でも作り始める的需要よりたくさんできるようになったから広葉樹をやめて、今度は花木をつくるようになったんです。花木も去年まではつくつとつたんやけど県の指示でやめて、それで今花木で残ったのがサクラだけになったの。国の天然記念物の淡墨桜と臥龍桜、そして県の天然記念物



2. 接ぎ木

これは万力^{まんりき}で言つてねー、台木を挟んで固定するの。これ工夫したんよ、僕が。切り出しナイフで切った穂を切り口が乾燥しないように切つてすく口の中に銜^はえるの。接ぎ穂の切り口を見て、ここに筋があるやろー、これは台木にもあるんです。これは形成層で、台

5. カメムシによる被害対策

この袋には種が入つてはるはず。なぜ袋をかけるかというと、カメムシが種の汁を吸うの。そうすると発芽しなくなるもんで。この袋をかけるのとかけんのでは発芽率が半分違うの。この前比較したときは、3倍も4倍も発芽率が高かったです。でも予算の関係もあって、1年に千枚しか袋が買つてもらえんのです。本当は何万枚もあるでしようねー。この袋は使い捨てで、その方が安くていいの。これは玉ねぎネット^{たまねぎネット}で、これ専用の袋つてのはないの。

6. ジベレリン処理

ジベレリン^{ジベレリン}つてのは、種をなるようにする薬です。一番枝下の部分に入れるの。入れた部分より上の枝に種はなるの。手順としては、ジベレリンとサンローズ^{サンローズ}を混ぜて、そこに水を加えて釣りの練り餌^{ねりえり}のような直径5mmぐらいのダンゴをつくる。そして木の皮をナイフを使つ



乾燥させた種をフルイにかけて種を出している



発芽検定をする機械

8. 発芽検定

これで発芽検定をするの。これが1月の仕事。ろ紙を濡らして、種も濡らしてケースの中のろ紙の上に種を200粒並べるの。ろ紙にはもう吸わないところまで、水を100%含ませる状態にする。1週間に1回ずつ調査して、水のなくなつたもんには足して。そして発芽検定器へ入れとくの。クロン^{クロン}(品種)ごととに比べ入れ入れとて、温度25度から28度くらいに設定しとくと2週間くらいで発芽し始

7. 種採り、種の乾燥、貯蔵

種採りは、まず女の人が種を採つて、そのあとに僕が枝を剪定する。種のついた枝ごと高枝ばさみで切つて、枝を集めて後から採る。ここでは種を乾燥させるんや。種が完全に乾燥するまでは大体1カ月ぐらいで。種が完全に乾燥してまてからフルイにかけける。十分乾燥させんと種が完全に出ん。こうして殻と種と分けて、少し貯蔵する。

3. サクラの種蒔き

サクラの種を蒔いたところには凍み浮き防止と乾燥防止のためにワラを被せるんです。凍み浮きつてのは、霜柱^{しもはしら}が立つて、種が中から押し上げられて出てくるんです。それで風で飛ばないようにワラの上におもりとして支柱をのせるの。種は1cmから2cmの深さで。この赤土はねー、いろんな雑菌が少ないつてことと、もう1つの目的は草が生えないの。

畑には一年おきに苗木をつくつて、あとはソルゴー^{ソルゴー}つていうキビのような牧草を植えるんです。畑に有機質を入れるためです。そうすると畑が肥えてくるので。今は毎年植えとつて、輪作するの1年はソルゴーつくつて、1年はサクラ苗をつくるといふことです。

4. 採種園

抵抗性アカマツ採種園^{抵抗性アカマツ採種園}…アカマツには今力を入れてるところです。岐阜の辺はいつぱいアカマツが枯れてるの。ほとんど枯れてまいったところ、ところどころに1本か2本ずつ残ったアカマツがあるんや。そこで松くい虫に抵抗性があるだろうというところで、残った木を選んで枝をとつてきて、それを接ぎ木して増やすの。その苗木にマツノザイセンチュウ^{マツノザイセンチュウ}を入れる試験をするわけです。マツノザイセンチュウを入れて、残れば強いんやし、枯れてまえば弱いってことが調べれるの。岐阜県で、80本ほど選んできてそこで試験すると18品種だけ残つたんです。それを今年度の試験場へ送つて、もう一度検査をするんです。そこで残つた6品種と他県の4品種を合わせて10品種植えたんです。それから種を採つて、植えるといふことです。

無花粉スギ採種園^{無花粉スギ採種園}…これが無花粉スギ。花粉の調査する人が、花粉が出んで不思議

9. 目標を超える

僕はね、失敗を恐れん。いつぱい失敗してくの。僕のやり方は、最初は人に苗木の作り方を習うでしよ。本当に教えてもらつたところりやるの。それでできるようになつたらすぐ工夫を加えるの。そして「もうちょっとこうできかなー」つて、その度に失敗するの。僕は結構失敗してきた、何をつくつても。でもそうでない面白くないねー、言われたとおりにはやつたんで。その人より超せんもん。だから最初は言われたとおりによつて、その人と同じレベルにするの。そこから少しでも抜きたいで、いろんな工夫をしてみるの。

名人 田中豊彦さんのプロフィール

●生年月日…昭和10年3月19日生まれ
●職業…岐阜県白鳥材木育種事業地管理人

中学を卒業と同時に白鳥材木育種事業地に勤務。スギ、ヒノキの優良林業種苗木生産に従事。第58回全国植樹祭で使した苗木の育成や、同陛下のお手播き苗の管理なども手掛けた。さまざまな功績が認められ、賞を受賞するなど林業に多く貢献している。岐阜県材木育種事業地では、良い山を育てるための良い苗木生産の研究をしている。

※原本は長文のため、文章の一部を割愛しています。
【森の名手・名人編集担当
公益社団法人
岐阜県緑化推進委員会 専務理事 白井征雄】